

病理部・病理診断科

1 構 成 員

	平成 28 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	1 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	1 人	(1 人)
診療助教	3 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	1 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	8 人	
その他（技術補佐員等）	1 人	
合計	15 人	

2 教員の異動状況

馬場 聡（部長・病院教授）（H18.6.1～現職）

土田 孝（副部長・助教）（H19.4.1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 27 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	4 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	8.98	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Uehara T, Kikuchi H, Miyazaki S, Iino I, Setoguchi T, Hiramatsu Y, Ohta M, Kamiya K, Morita Y, Tanaka H, **Baba S**, Hayasaka T, Setou M, Konno H; Overexpression of Lysophosphatidylcholine Acyltransferase 1 and Concomitant Lipid Alterations in Gastric Cancer, *Ann Surg Oncol*, 23 (Suppl. 2), 206-213, 2016. [3.93]
2. Miura K, Egawa Y, Moriki T, Mineta H, Harada H, **Baba S**, Yamamoto S; Microscopic observation of chemical modification in sections using scanning acoustic microscopy, *Pathol Int*, 65(7), 355-366, 2015. [1.69]
3. Oishi K, Sakaguchi T, **Baba S**, Suzuki S, Konno H; Macrophage density and macrophage colony-stimulating factor expression predict the postoperative prognosis in patients with intrahepatic cholangiocarcinoma, *Surg Today*, 45(6), 715-722, 2015. [1.53]
4. Hara R, Kikuchi H, Setoguchi T, Miyazaki S, Yamamoto M, Hiramatsu Y, Kamiya K, Ohta M, **Baba S**, Konno H; Microarray analysis reveals distinct gene set profiles for gastric and intestinal gastrointestinal stromal tumors, *Anticancer Res*, 35(6), 3289-3298, 2015. [1.83]

インパクトファクターの小計 [8.98]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 松島紗代実, 藤澤朋幸, 原田雅教, 河野雅人, 榎本紀之, 中村祐太郎, 乾 直輝, 目黒史織, 岩下寿秀, **馬場 聡**, 須田隆文; CPC 日常臨床から学ぶ この症例の新しい意義は? 腎移植後に多剤耐性緑膿菌感染をきたした1例(症例検討会), *THE LUNG-perspectives*, 23(4), 318-322, 2015.

インパクトファクターの小計 [0]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

4 特許等の出願状況

	平成 27 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 27 年度	
(1) 科学研究費助成事業（文部科学省、日本学術振興会）	0 件	(0 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)

(3) 日本医療研究開発機構 (AMED) による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 科学技術振興機構(JST) による研究助成	0 件	(0 万円)
(5) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(6) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(7) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(8) 奨学寄附金	0 件	(0 万円)

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	0 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成 27 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 27 年度
産学共同研究	0 件

11 受賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発

14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

15 新聞, 雑誌等による報道